

第5次巨理町総合発展計画 後期基本計画の構成

1. 基本的な考え方

- (1) 基本構想は「2018年度から10年間の計画」であることから、基本的に変更しない
- (2) 基本構想の理念に立ちつつ、社会情勢の変化等を鑑みた対応の必要性や考え方について、後期基本計画に盛り込む
- (3) 第2期総合戦略（人口ビジョン含む）は、章立てして入れ込む
- (4) 後期基本計画の施策で総合戦略と関連するものは、マークまたは着色で表示する
- (5) 各施策に対応するSDGsのゴールを、アイコンで表示する

2. 目次案

I. 計画策定にあたって

1. 第5次巨理町総合発展計画 後期基本計画とは
2. まちづくりの背景（社会情勢とまちづくりの課題）

II. 基本構想

1. 将来都市像、基本理念
2. 施策推進の全体像
3. 計画推進のために（協働のまちづくり、PDCAサイクル）

III. 後期基本計画

SDGsとは（理念、施策の推進とSDGsのゴールの達成との関連 等）

- 第1章 持続可能なまちの基盤づくり
- 第2章 わたしとわたりのブランドづくり
- 第3章 とともに学び育て合う人づくり
- 第4章 未来に輝く健康づくり
- 第5章 絆を深める自治づくり

IV. 第2期巨理町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 計画の位置づけ（後期基本計画との関連）
2. 人口ビジョン
3. 総合戦略

V. 資料編

1. 総合発展計画審議会条例
2. 審議会委員名簿
3. 策定経緯

3. 後期基本計画とSDGsの関連について（計画への記載案）

SDGs（「持続可能な開発目標」）は、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。国連加盟の193カ国において2030年度までに達成するものとして、17のゴール（目標）と169のターゲット（具体目標）で構成されています。

この目標は、国だけでなく市町村レベルでも積極的に取り組むことで、少しずつ達成に向かうものです。

互理町では、総合発展計画に位置づけられた取組を推進することが、住民の生活の質の向上や地方創生、ひいてはSDGsのゴールの達成に寄与するという考えのもと、SDGsの理念を踏まえたまちづくりを推進していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。

同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代にもなるかも知れない。

我々がこの目的に成功するのであれば、2030年の世界はよりよい場所になるであろう。」

『持続可能な開発のための2030アジェンダ』より

【マークの意味と見方（イメージ）】

3 商業の振興

対応するSDGsのゴール



まちのにぎわいや活力を演出する場所として、魅力あるまちづくりに貢献できる地域商業機能の拡充や地域特産品の開発・販売等を推進し、地域商業の再生・活性化に努めます。

重点事業

① **重** (1) 地域商業機能の拡充（担当課：商工観光課）

地方創生事業

① **創** ① 水産センター「きずなポート「わたり」」1階に産直市場がオープンし、新鮮な農水産物が観光客等に提供されており、今後とも地産地消の場の形成を図ります。

② 町内商店街においては、道路整備など土地利用に十分配慮しながら、楽しく買い物ができる環境づく